
 一 般 質 問 通 告 書

第 1 8 5 回浦添市議会定例会
(平成 3 0 年 6 月)

1.	濱	崎	早	人	・	・	・	・	・	1	6月8日
2.	又	吉	正	信	・	・	・	・	・	1	↓
3.	比	嘉	克	政	・	・	・	・	・	1	
4.	仲	間		烈	・	・	・	・	・	1	
5.	下	地	秀	男	・	・	・	・	・	2	
6.	金	城	大	輔	・	・	・	・	・	2	
7.	伊	礼	研	一	・	・	・	・	・	3	↓
8.	當	間	清	春	・	・	・	・	・	3	
9.	稲	嶺	伸	作	・	・	・	・	・	4	
10.	松	下	美智子		・	・	・	・	・	5	
11.	大	城		翼	・	・	・	・	・	6	
12.	田	畑	翔	吾	・	・	・	・	・	6	↓
13.	伊	礼	悠	記	・	・	・	・	・	10	
14.	西	銘		健	・	・	・	・	・	12	
15.	亀	川	雅	裕	・	・	・	・	・	14	
16.	銘	苅	良	二	・	・	・	・	・	14	
17.	比	嘉	武	宏	・	・	・	・	・	14	↓
18.	新	垣	有	太	・	・	・	・	・	14	
19.	當	間	左知子		・	・	・	・	・	17	
20.	上江洲		徹	也	・	・	・	・	・	17	
21.	古波蔵		保	尚	・	・	・	・	・	17	
22.	真栄城		玄	誠	・	・	・	・	・	18	↓
23.	下	地	惠	典	・	・	・	・	・	18	
24.	護得久		朝	文	・	・	・	・	・	18	
25.	又	吉	謙	一	・	・	・	・	・	19	

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
1 濱 崎 早 人	1 （仮称）発達障がい児関連複合施設の整備進捗について 2 本市のはしかの現状と今後の課題について 3 小中学校における子供の携帯電話の取り扱いについて 4 市道牧港11号線の下水道の整備について 5 軍港移設並びに西海岸整備事業について
2 又 吉 正 信	1 わんぱく相撲の派遣費等について伺います。 2 道路行政について (1) 城間地域のロードマップについて伺います。 (2) 神森線の供用開始について伺います。
3 比 嘉 克 政	1 西海岸開発について伺います。 (1) 現在どういう状況か伺います。 (2) 今後どのような進め方を考えているか伺う。 2 浦添市の観光振興について伺います。 (1) カーミージー周辺の取り組み (2) 港川ステイツサイドタウンの取り組み (3) 屋富祖商店街の取り組み (4) 浦添城跡周辺の取り組み
4 仲 間 烈	1 浦添南第一地区土地区画整理事業について (1) 進捗率と面整備率について (2) 地域から要望が出ている横断歩道の設置について 2 ユブシが丘トンネルの早期開通について 3 保育行政について (1) 認可保育園の平成30年度の待機児童の現状について (2) 認可外保育園の現状と今後の取り組みについて 4 認定こども園について 5 学童への支援について 6 公立幼稚園について (1) 給食制度について (2) 4歳児、3歳児クラスの特別支援学級について 7 防犯灯の現状について 8 沖縄都市モノレール延伸事業について

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
5 下 地 秀 男	1 障がい児等の健やかな成長と地域での豊かな生活を応援することについて (1) ジョブサポーターの導入について (2) 知的障がい者を対象とした、浦添市役所の非常勤嘱託員の採用について 2 「誰一人取り残さない」SDGs（エスディジーズ・持続可能な開発目標）の理念への取り組みについて 3 紙おむつのゴミを地球を救う燃料資源にすることについて 4 神森小学校のプールと併設の学童クラブ建設予定について 5 勢理客1丁目11番の神森小学校裏門側の通学路について 6 勢理客1丁目26番と2丁目9番の丸大勢理客店前交差点に信号機を設置することについて 7 元外人住宅跡地の諸課題について (1) 勢理客1丁目の元外人住宅跡地の側溝の整備について ①一括交付金で整備できないか伺います。 ②勢理客12号線に私道という掲示板が設置されていることについて伺う。 8 道路の狭隘な地域の整備について 9 コミュニティバス及びデマンドタクシーの運行について 10 公共施設の民間活力導入について
6 金 城 大 輔	1 西海岸道路開通後の海の利用状況と環境保全について (1) 市民の海の利用状況について (2) 海の利用についての問い合わせやトラブルはないか。 (3) 観光資源としての西海岸の海の活用の具体的な取り組み (4) 里浜保全活用促進協議会の状況について (5) 保全のための具体的な施策と予算について 2 カーミージーの護岸整備について (1) 整備スケジュールについて (2) バリアフリーの観点から、足の不自由な方にも海を活用してもらうために、護岸に整備される歩道に海へのスロープを設置することについて 3 海浜公園の整備について 4 港川ステイツサイドタウンのインフラ整備と観光施策について 5 建てかえられる港川小学校の体育館について、避難所としての機能強化は考えられているか。

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	6 市道伊祖前田線について、西原伊祖線との合流地点の安全対策は考えられているか。 7 高齢者福祉について (1) 老人福祉センターの利用状況について (2) 介護予防の取り組みについて 8 行政手続をインターネットで完了できるワンストップサービスの導入について
7 伊 礼 研 一	1 中学校道徳教科書採択について (1) 採択に関する会議の場を公開すること (2) 採択までのスケジュールを伺う。 (3) 閲覧者及び教員の意見を伺う。 (4) 教育長の見解を伺う。 2 平成30年度新設予定の学童クラブ10カ所について進捗を伺う。 3 動物愛護週間に合わせて、図書館で特設コーナーを作ることを提案する。 4 ごみ袋に広告を載せ、その収入で取っ手つきの袋を作製する件について進捗を伺う。 5 コミュニティバスについて 6 モノレール開通に向け、浦西団地内「にしばる保育園」隣接の里道を整備し、利用できるようにすることについて 7 辺野古新基地建設の是非を問う県民投票について市長の見解を伺う。 8 選挙及び投票のあり方について (1) 期日前投票の投票数について (2) 投票率の推移について (3) 商業施設などでの投票所設置について
8 當 間 清 春	1 沢岬幼稚園プレハブ園舎の建てかえについて 2 沢岬小学校区に公的学童クラブを設置することについて 3 沢岬げんき学童クラブの施設確保について 4 公園行政について (1) クニンドーの森公園の進捗について伺う。 (2) クニンドーの森公園内の湧き水ハンダガー整備について伺う。 (3) あじさい公園に健康器具を設置することについて伺う。

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
	5 浦添市の区画整理事業について (1) 南第一地区、南第二地区、てだこ浦西駅周辺地区、浦添前田駅周辺地区土地区画整理事業の進捗状況について (2) 事業費、面積、事業終了年度の予定を伺う。 (3) 沢岬石嶺線の進捗状況を伺う。 (4) 南第二地区土地区画整理事業地内の介護施設移転について伺う。 (5) 南第二地区土地区画整理事業地内の先行地区の進捗状況について伺う。
9 稲嶺伸作	1 昨年度末に策定した「浦添市観光振興計画」「浦添市産業振興ビジョン」について (1) それぞれの策定の経緯、目的、内容のポイントを伺う。 (2) 観光庁によるDMO認可取得を目指していると思うが、取得目標をいつに設定しているか。また、中心となる市観光協会の法人化をいつに設定しているか。 (3) カーミージー、港川ステイツサイドタウン来訪者向けの駐車場の対応が求められるが、その対策について ①港川ステイツサイドタウンについては、近隣パチンコ店との連携が図れないか。 (4) 新たな観光スポットのカーミージー、前田高地、既存の浦添大公園の滑り台など目的地にスムーズに到着できるよう多言語対応の案内表示の設置が求められるが、その対策について (5) カーミージー、前田高地など観光スポットに多言語表示やQRコード表示ができるデジタルサイネージの導入について (6) 今回の振興計画では、具体的に市内来訪者の目標人数まで設定されている。実現の手段として、年間270万人の首里城来館者を浦添城跡に誘引する。年間35万人の県平和祈念資料館、年間100万人のひめゆり祈念館来館者を前田高地に誘引する。そのために、新たな多言語観光案内パンフレットの制作と設置を提案したい。 (7) 浦添前田駅の観光拠点施設が東の玄関なら、西の玄関が必要である。来年オープンするサンエーパルコ内に、市観光・物産・情報・交流機能を有するアンテナショップの設置を提案したい。 (8) 浦添市の隠れた魅力を観光コンテンツとして活用するための掘り下げについて

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
	①中国から空手の原型となる文化が入ってきたのが浦添だとの声もある。泉州市との交流にも役立つと思うので、調査を行って裏づけを取り、記念碑設置などができるか。 2 商業施設などを使用した期日前投票所の設置について (1) 今年11月に県知事選挙、来年は参議院選挙が控えている。昨年10月に行われた衆議院選挙は悪天候が続き、投票にも支障を来した。その解決策として市民から期日前投票会場増設の要望が上がっている。これまでに決算または予算審査特別委員会などでも提案しているが、県知事選には間に合うのか。 3 高齢者の窓口対応について (1) 高齢者が相談や手続などで行政窓口を訪ねた際にどこを訪ねてよいかわからない。また、わかっても複数の窓口を移動する負担を軽減しスムーズに行動ができるよう、高齢者案内コンシェルジュやワンストップ窓口の設置ができないか。 4 こども青少年育成支援について (1) 平成27年度における本市の遊び・非行傾向の不登校で、学校外での指導や相談を必要とする中学生の割合が本市は全国の5.7倍、県の1.2倍であったが、改善状況を伺う。 (2) 対策として平成28年度より自立支援室「ひなた」を開設し3年目を迎えた。成果と課題を伺う。 (3) 自立支援室「ひなた」は、昨年度より支援員を1人増員し4人体制となっているが、マンパワーや施設増設の必要性を伺う。 5 道路行政について (1) 新学期がスタート、新一年生初め児童生徒や園児たちが安全に通学できるよう、ヒヤリ・ハットする交差点ほか危険個所の安全対策が求められる。以前から要望が上がっているが、事故が発生してから対応なされた場所もあり、市の見解を伺う。
10 松 下 美智子	1 養蚕絹織物事業の振興について (1) 2020年東京オリンピック開催を見据えてのかりゆしウェア「うらそえ織」の開発をしてはどうかと考えます。見解をお伺いします。 2 防災・減災対策の取り組みについてお伺いします。 (1) 避難行動要支援者対策事業の取り組みについて (2) 個別避難計画書の作成について (3) 福祉避難所の取り組みについて (4) 自主防災組織の取り組みについて

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	3 性暴力被害者支援についてお伺いします。 (1) 県性暴力被害者ワンストップ支援センター（＃7001）との連携について (2) 市としての取り組みについて 4 市民サービスの向上についてお伺いします。 (1) 市役所の各課直通電話の実施について (2) 市民課窓口の申請書記入について ①職員が聞き取り記入し申請者が署名する方式に改善できないかお伺いします。 5 高齢者の方への施策についてお伺いします。 (1) 一人暮らしの方の書類相談窓口設置について (2) 一人暮らしの方の資源ごみの出し方の改善について（牛乳パック・段ボール箱等） (3) 市の施設（てだこホール等）の演壇に登る階段に手すりをつけることについて (4) 高齢者の方の補聴器購入費の助成についてお伺いします。 6 障がい者在宅就労支援の取り組みについてお伺いします。 7 男女平等及び多様性を尊重し人権を守る社会を推進することについてお伺いします。 (1) 条例制定に向けた取り組みについてお伺いします。
11 大 城 翼	1 本市の道路行政について (1) 本年3月に西海岸道路が開通し、県道浦添西原線港川道路が暫定供用開始となりました。本市の渋滞緩和と市民の生活環境改善の効果について伺う。 (2) 平成8年12月SACO最終報告により、本年3月末に返還された国道58号の整備によるこれからの交通環境について伺う。 2 地域猫活動TNR事業の現状と今年度予算について 3 浦添運動公園内の安全管理について 4 市役所立体駐車場側、車イス専用通路の上屋設置について 5 JIS認定ヘルプマークの早期導入について 6 消防行政について (1) 消防職員の資格取得について伺う。 (2) 感染症予防対策について伺う。
12 田 畑 翔 吾	1 沖縄県が、今年10月から未就学児を対象に、入院・通院ともに病院窓口での支払いの必要がない「現物給付」（窓口無償化）を全市

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
	町村で導入する方針を固めました。また、通院時に課される一部自己負担金についても廃止されます。3月議会で「本市においても導入を予定している」との答弁であったが、進捗を伺う。また、通院費も中学卒業まで窓口完全無償化を実現することについて 2 那覇市は、経済的な理由で大学進学が困難な生徒を支援する市独自の給付型奨学金を創設しました。沖縄県内大学への進学希望者が対象で、入学金と授業料の全額を支給するとのこと。2019年に入学する学生から導入する予定で、県内大学進学者への奨学金全額支給は県内初との新聞報道がなされました。貧困と格差が広がり家計収入が減少する中で、学生や保護者の負担も限界を超え、進学を断念する人も少なくありません。ようやく入学しても在学中は多くがアルバイトに追われています。いまや学生の2人に1人が奨学金を借りなければならないのが現実です。また、卒業後は、雇用と収入が不安定で奨学金を返済できない人がふえるとともに、サラ金並みの厳しい取り立てが若者を追い詰めています。給付型奨学金は本市の子どもたちにおいても痛切な願いであることは明かです。返済のいない給付型奨学金を早期に実現することについて 3 公立小学校や中学校の給食費の保護者負担を全額補助して無償にする市町村が全国で広がっています。学校給食法は食育の推進をかねています。また、憲法第26条は「義務教育は、これを無償とする」としています。給食費が払えずに肩身の狭い思いをしたり、生活費を切り詰めて給食費を捻出するなど、子どもたちや家庭に大きな負担となっています。浦添市における保護者が負担する給食費の月額、小学校で4,200円、中学校で4,600円です。無償化が実現すれば、年間5万円程度の負担軽減になります。本市で学ぶ全ての子どもたちが安心して学校給食を食べることができるように給食費無償化を実現することについて (1) 給食費の補助を幼稚園まで拡大することについて (2) 所得制限をなくし、学校給食費の完全無償化を実施することについて 4 沖縄県中城村が2018年度から、小学校1年生から3年生の学級数をふやし、1学級15人程度の少人数学級の導入を村独自予算で実施しました。貧困と格差の広がりなどさまざまな要因で、手厚い対応が必要な子どもがふえ、現行の1クラス40人では学級運営が大変なことは、校長、教職員、教育委員会やPTAの関係者などが一致して認めています。少人数学級は「一人一人に目を向けてほしい、丁寧に勉強を教えてほしい、話を聞いてほしい」という子どもたちの願いに応えるものです。浦添市においても少人数学級を推進するこ

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
	とについて (1) 沖縄県教育庁は、小学校6年生で35人学級を今年度から導入しました。本市においても実施できているか伺う。 (2) 少人数学級を実施するために教室を整備することについて、前回議会において部長は「空き教室の有効活用、または特別教室の転用が可能かどうかを検討すると同時に、慢性的な教室不足のある学校についても増築スペースの検討及び財源確保に努め、可能な限り少人数学級編成の実現に向けて取り組みたい」と答弁しました。進捗を伺う。 (3) 中城村は、今回の少人数学級導入に向け、教員7人を村独自予算にて新たに雇用するとのこと。子どもたちのためのきめ細かな教育、そして、教員の多忙化解消への期待もできる少人数学級を実現するために、浦添市が教員を採用することについて、前回議会において部長は、「市独自で教員を採用し、少人数学級を行うことについて、研究調査を行う」と答弁しました。進捗を伺う。 5 文部科学省が平成28年度に行った「教員勤務実態調査」によると、過労死ラインを超える教員の割合は小学校で33.5%、中学校で57.6%。また、経済協力開発機構（OECD）が世界34の国・地域の中学校教員を対象に行った「国際教員指導環境調査」によると、日本の教員の勤務時間は、調査した34の国・地域の中で世界最長の勤務時間とのこと。沖縄県内の教員の多くも過労死ラインを超える月80時間以上の長時間勤務を余儀なくされ、特に病気休職の発生率は全国平均の3倍以上、10年連続で全国ワーストを更新しているとの新聞報道もなされています。本市も例外ではなく、公立小中学校教職員の一定数が過労死ラインである月80時間を超える長時間勤務を行っており、約半数以上が健康障害のリスクを伴う月45時間を超える残業を行っていることから、病気休職者予備軍が多数存在していることも分かりました。先生方は既に限界を超えており、行政としてこれ以上の負担を放置し続けることは決して許されません。本市における教職員の多忙化を解消することについて (1) 直近3カ月間における、過労死ライン月80時間を超える残業を行っている教職員の割合について (2) 直近3カ月間における、厚生労働省大臣告示、健康障害リスクを伴う月45時間を超える残業を行っている教職員の割合について (3) 精神疾患による休職に至る前の事前予防策の徹底について (4) 4月から始まったICカードによる労務管理の運用状況について

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
	て (5) 労基法第109条に基づく勤務記録の3年間保存義務の徹底について (6) 労基法第34条第1項に基づく休憩時間「45分休憩」の取得徹底について (7) 3月議会において、私が「本市の教職員の働き方が過労死ラインである月80時間を超える現状をこれ以上放置してはならない」と主張した際、教育長は「先生方の努力以外の効率を上げる方法というものも追及して、現場をより子どもたちのために働ける状況をつくりたい」と答弁しました。その方法について、業務改善方針や計画の策定など、目に見える形の具体的な解決策を伺う。 (8) 昨年9月、中央教育審議会が行った「学校における働き方改革に係る緊急提言」において、「教員の勤務時間外における保護者や外部からの問い合わせに対応するため、服務監督権者である教育委員会は、緊急時の連絡に支障がないよう教育委員会事務局等への連絡方法を確保した上で、留守番電話の設置やメールによる連絡対応を初めとした体制整備のための支援を講じること」と提言しました。勤務時間外の問い合わせ対応における本市の学校現場の実態を伺う。 (9) 中央教育審議会が行った「業務の適正化・役割分担等に関する具体的な論点」の中で提言されている「必ずしも教員が担う必要がない業務」について伺う。 6 「国民健康保険税を支払うお金がなく、医療機関にかかることを我慢した結果、耐えきれずに受診したときは手遅れだった。」このような痛ましいケースが全国各地で相次いでいます。全日本民医連の2017年「経済的事由による手遅れ死亡事例調査」では、29都道府県で63人もの命が1年間で失われていました。調査では、失職で収入が減るなどして国保税が払いきれず、正規の保険証を取り上げられた人たちの受診遅れ死亡が際立っています。今では、加入者の約8割以上が非正規労働者や無職の人で構成されており、負担能力を超えた保険税負担を強いる現在の国保制度は、「社会的弱者の医療制度」が、弱者を医療から排除し、困窮に陥らせています。本市も例外ではなく、過去3年間の短期保険者証の交付世帯、差し押さえの件数が増加しています。そして、4月から開始された「国保の都道府県化」は、市町村による国保への財政支援をやめさせるなど国保税大幅アップにつながるものです。本市においても、高すぎる国保税を引き下げ、誰もが安心して病院に行けるようにすることにつ

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	いて (1) これまで通り法定外繰り入れを行い、国保税を引き下げることについて (2) 子育て世帯の国保税を高騰させる要因である均等割をなくすことについて (3) 均等割の減免や多子世帯の国保税の減免を行っている他自治体の状況について (4) 市民の負担を軽減するために短期被保険者証の期限を6カ月以上にするについて 7 安倍政権の5年間で、大企業は史上最大の利益を上げ、400兆円を超える内部留保をためこみ、超富裕層の資産は3倍にもなる一方、働く人の実質賃金は年額で15万円も減り、実質消費支出は20万円も減少しました。安倍政権の「働き方改革」は、労働時間規制を外す「定額働かせ放題」の残業代ゼロ法案と言われる「高度プロフェッショナル制度」を目玉とするなど、「働く人の視点・立場にたった改革」ではなく、働かせる側である財界の立場に立った「働かせ方大改悪」を行おうとしています。5月28日、安倍首相は「高度プロフェッショナル制度」に反対する過労死遺族との面会を拒否しました。労働者の未来を奪う働かせ方に対し、市長として、今回の「働き方改革」法案の廃案を求めるべきだと考えるが見解を伺う。
13 伊 礼 悠 記	1 「認可保育所に入れるだろうか」「どこにも預けられなければ仕事をやめるしかない」。保育所の申し込みを済ませても、入所が決まるまでは親は不安でいっぱいです。不承諾となれば保活に追われます。待機児童解消の抜本的対策は、公立保育所を初めとする認可保育所の増設、保育士の賃上げなど専門職にふさわしい処遇改善、非正規保育士の正規雇用化は不可欠です。子どもを安心できる保育所に預け、働きたいという親の当たり前の願いを実現するために、浦添市が保育に対する公的責任を果たすことについて (1) 新年度の入所申し込み人数と受け入れ人数、不承諾人数 (2) 4月1日時点の待機児童数と入所待ち児童数、保育定員の推移 (3) 待機児童解消に向けた整備計画について (4) 保育士の賃金引き上げなど処遇を改善することについて (5) 新年度、保育士を確保できているか。保育士の不足数について (6) 保育士OK INAWAステイ計画について (7) 小規模保育事業所について ①連携施設を確保できていない事業所はいくつあるか。 ②条例では連携施設の確保の経過措置は2019年度までとなっています。確保に向けた具体策について

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	(8) 認可外保育施設の支援を拡充することについて ①認可化移行支援について ②給食費の補助を増額することについて ③保育料を認可保育所並みとなるよう補助することについて 2 病児・病後児保育事業の実施施設が2施設から1施設となって5年が経過しました。保護者から利用施設をふやしてほしい、使いやすいように改善してほしいという声が上がっています。病児・病後児保育事業を拡充することについて (1) 利用者数の推移と利用状況について (2) ファミリーサポートの病児、病後児の利用状況について (3) 利用料金は4時間以内2,000円、4時間以上2,500円で、負担が大きいという声がありますが、軽減することについて (4) ひとり親世帯や多子世帯などに減額・免除を適用することについて (5) 実施施設をふやすことについて 3 当山小学校分離新設校の早期実現について、3月議会では学校候補地を「6月頃、もしくは夏場までには決定したい」との答弁でした。分離新設校の実現に向けた進捗状況について伺います。 4 昨年、浦添市の小学校の道徳教科に愛国主義的傾向の強い教科書が採択され、選定過程も含め多くの批判の声が上がりました。道徳の教科化で戦前の教育勅語体制下の修身をほうふつさせ、その復活につながるという根強い批判があります。次年度から実施される中学校の道徳教科書の選定が始まりますが、段階別で生徒自身が自己評価するページを設けた教科書もあり、「心を自己評価し、また特定の価値観を押し付けるようなことがあってはならない」と専門家から疑問の声が上がっています。道徳教育についての中央教育審議会答申でも「特定の価値観を押しつける」ことは「道徳教育が目指す方向の対極にある」と述べています。国も地方も、道徳教育への統制をやめるべきです。教科書の採択は、主権者・国民の教育権にかかわることであり、その方法は、教育に携わる教職員と市民への説明責任を果たし、納得が得られるものにすることこそ教育委員会の責務です。審議過程の公開や、選定委員、研究員を公表するとともに選定基準を明らかにし、公開性と透明性のある教科書採択の実施を強く求めます。 5 新年度、小中学校の特別支援ヘルパーが確保されていません。賃金引き上げなど処遇を改善し、人材を確保することについて早急に取り組む必要があります。 (1) ヘルパーが何人不足しているか。 (2) 賃金引き上げなど処遇を改善することについて 6 ふるさと納税の返礼品に日本郵便が提供する「みまもりサービ

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	ス」を導入したことについて 7 東村高江で発生したCH53E大型輸送ヘリの不時着・炎上事故で、米軍が事故直後に現場から持ち去った土壌がキャンプ・キンザー内で保管されていることについて、「市民から撤去してほしい」など不安の声が寄せられています。基地内の立ち入り調査や汚染の可能性のある土壌の撤去を速やかに実現すること、基地対策室を設置するなど、市民の命や健康、安全を守るために早急な対策が求められています。浦添市の具体的な取り組みについて伺います。 8 2019年春に予定していた浦添市へのモノレール延長区間の開業時期を延期すると発表がありましたが、事業の進捗と延期による影響について 9 てだこ浦西駅周辺の土地区画整理事業と、まちづくりの進捗状況について
14 西 銘 健	1 学童クラブの実施主体は市町村です。待機児童や大規模化、高すぎる保育料、人材不足など学童クラブが抱える様々な課題に市が早急に支援を行うことについて (1) 市内に待機児童が何人いるか。 (2) 条例に定められた適正な基準を超える児童総数 (3) 今年度は10学童クラブを新設する予定であるとしているが進捗を伺う。 (4) 浦添市としていつまでに各学童クラブの適正規模と待機児童ゼロを実現する予定か。待機児童数と今後ふえるニーズ量も加味した支援、整備計画を伺う。 (5) 公的施設への入居を早急に進めること (6) 家賃の全額補助や、転居費用を補助すること (7) キャリアアップ処遇改善事業などで支援員の処遇を改善すること (8) 生活保護世帯、非課税世帯などの低所得世帯の保育料の全額免除や、多子世帯など保育料の軽減のため補助を行うこと 2 公立幼稚園の認定こども園移行に伴い、職員の処遇や保育、教育内容が後退することがあってはなりません。 (1) 職員の処遇を現行どおり保障すること (2) 特別支援の必要な子どもの保育を拡充すること 3 特別養護老人ホームを増設することについて (1) 入所申請をしているが、入所できない市民は何人いるのか。過去3年間の推移 (2) 特別養護老人ホームあるいは地域密着型介護老人福祉施設を整

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	備する具体的な計画を伺う。 4 人格形成の基礎を培う幼児教育を拡充することについて (1) 今年度も継続的に幼稚園教諭を採用すること (2) 臨時職員の処遇を抜本的に改善すること (3) 用務員あるいは事務員を配置して先生の多忙化を改善すること (4) 特別支援ヘルパーを配置して特別教育支援を強化すること 5 教員の駐車場使用料の減免措置がされてなく、教員が不利益を被っていることについて、昨年の9月定例会において私が「規則を歪めて運用していることが大問題だ」と指摘しました。部長は「規則と運用が食い違っている。減免措置について考察していきたい」と答弁しました。改善されたか伺う。 6 内間小学校のプールが老朽化しています。早急に建てかえることについて 7 神森小学校のプールが老朽化して危険です。保護者からは「けがをするかもしれないプールに子どもを入れたくない」との声も聞かれます。プールの建てかえと学童クラブの併設を急ぐことについて 8 お年寄りや子どもたちなど市民の足を確保するためにコミュニティバスを導入することについて 9 キャンプ・キンザー米軍基地の返還跡地に学校や市営住宅、図書館の分館など文化教育施設などの公共施設の整備計画を立てることについて 10 バスを利用する市民に日差しや風雨の対策が必要です。バスの利用を促進するためにも市内のバス停に屋根とベンチを設置することについて 11 学校の正門前や通学路の横断歩道の白線が消えて危険です。浦添市が早急に交通安全対策をとることについて 12 豊かな自然の残る貴重な西海岸の埋め立てをやめて、キャンプ・キンザー米軍基地の早期無条件返還で、基地も軍港もない平和で経済発展する浦添市を実現することについて (1) 日米両政府が決めた浦添新軍港はどのようなものか市長に問う。 (2) 日米両政府が浦添に軍港を必要としている理由は何か。 (3) 市長は浦添に軍港が必要と考えているのか。 (4) 軍港建設のための環境アセスメントが着手されたが、市長の見解と対応を問う。 (5) 軍港建設のために国民、市民の税金が総額いくら使われる予定か。

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
15 亀 川 雅 裕	1 西海岸開発について 2 当山小学校分離新設校について
16 銘 苅 良 二	1 市長の政治姿勢について (1) 「稼ぐ力」と企業誘致について 2 観光行政について (1) 観光振興計画 (2) 観光協会の体制について (3) 観光資源の把握と保全について 3 建設行政について (1) 開発行為に対する行政の役割 (2) てだこ浦西駅周辺の整備の進捗 4 文化行政について (1) 本市の文化資源の有効活用 (2) 伊祖城跡の建物の高さ制限の進捗 5 教育行政について (1) 登校下校時の安全対策 ①学校の安全指導と地域の役割 (2) 育英会篤志奨学基金について
17 比 嘉 武 宏	1 本市における成年後見制度利用促進の取り組みについて 2 浦添市泉州市友好都市締結30周年記念事業の取り組みについて 3 住宅宿泊事業法（民泊法）について 4 西海岸開発について 5 カーミーギー周辺海浜公園整備の進捗について 6 牧港補給地区の分割返還について
18 新 垣 有 太	1 保育行政について (1) 平成29年度に実施した待機児童を解消するための事業と事業費について伺う。 (2) 松本市長が誕生してから、これまでの待機児童を解消した実績を伺う。 (3) これまで取り組んできた待機児童解消対策を踏まえ、今後の課題を伺う。 (4) 今後の課題を踏まえ、平成30年度以降の予定事業及び数値目標等を伺う。

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	2 学童の補助金交付規程の改正について (1) 「浦添市放課後児童健全育成事業実施規程」の改正、つまり学童を運営する団体等に対して補助金を交付するルールの変更が検討されている。改正に当たっては、学童運営関係者の間でもさまざまな意見が出ており、主な論点として①これまで父母会運営団体のみを補助金の交付対象としていたものを法人まで対象とすること②校区制限を設けるか否か③任意団体である浦添市学童保育連絡協議会に加盟する義務を課するか否か等についてこれまで議論が行われてきたものと理解している。このような中、去る平成30年5月7日に開催された浦添市学童保育連絡協議会に加盟している団体及び未加盟団体も含めた関係者と、市の意見交換会が開催され、私と無所属の会の同志である仲間烈議員とで傍聴した。その際、各関係者から出された意見について、どのような意見が出されたか伺う。 (2) 意見交換会において、各関係者から出された意見を踏まえ、補助金交付規程を今後どのように改正する予定か伺う。 3 子供の貧困対策について (1) 子供の貧困対策のうち、内閣府予算で実施している事業である子供の貧困緊急対策事業について、浦添市はこれまで外部委託によって「てだこ未来応援員」を設置し、子どもの貧困に関する各地域の現状を把握したり、関係機関と情報の共有やアドバイスをを行うことを目的に事業実施されてきたが、平成30年度から「てだこ未来応援員」の配置事業を、外部委託ではなく市の直轄事業として実施されているが、実務として具体的に変わった点はあるか。また、今後どのような目標を想定しているか伺う。 (2) 昨年の12月議会において、子どもの貧困対策事業を行う上で学校側と連携強化を求めたが、その後の状況を伺う。 4 当山小学校分離新設について (1) 3カ所に絞られた候補地の場所について伺う。 (2) 候補地選定の評価基準と評価の方法等について伺う。 5 本市職員の働き方改革と勤務環境の整備について (1) 3月議会でも質疑したが、平成29年10月に沖縄県人事委員会が行った「職員の給与等に関する報告及び勧告」のなかで、働き方改革と勤務環境の整備や、能力及び実績に基づく人事管理の推進を図る旨、課題が突きつけられている。沖縄県人事委員会勧告に基づいて職員の給与は引き上げたのに、公務運営に関する課題、例えば、フレックスタイム（時差出勤）の導入や人事

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
	評価制度の改革等には取り組まないのか伺う。 6 沖縄都市モノレールの延伸路線の開業が、2019年春から同年夏頃へ延期されたことについて (1) 沖縄都市モノレールは、開業延期の理由として①用地取得が遅れたこと②人手不足等に伴う入札不調が原因ではないかと分析されている。用地取得が遅れた具体的理由や場所について伺う。 (2) 人手不足等に伴う入札不調が原因ではないかと分析していることについて、実際、入札不調になった工事の場所、種類及び内容等について伺う。 7 那覇軍港浦添移設問題を含む西海岸開発について (1) 2018年2月5日に行われた3者会談の具体的内容と結果について伺う。 (2) 2017年9月19日に初の3者会談が開催され、2回目が2017年11月24日、3回目が2018年2月5日に開催と、初の開催からいずれも県議会開会前に3者会談が実施されてきた。これまでの流れを考えると、今年5月に開催されていてもおかしくなかった。開催されなかった理由は、翁長県知事の体調不良によるものだと想像できるが、県からは、副知事代理による3者会談の提案等はなかったのか。このような提案がなかったとしたら、体調について大変心配しているところではあるが、厳しい見方をすれば業務に支障が出たとも言える。このことについて市長の見解を伺う。 (3) 沖縄における国際物流は、県内からの輸出が少ないため輸送コストが高くなるなどの理由から、多くの識者から、国際競争に勝てないと指摘されているが、このような指摘及び課題等に対し、どのような対策を考えているのか伺う。 (4) 一括交付金を活用して那覇港管理組合が実施している「那覇港物流機能等強化事業」の具体的な内容を伺う。 (5) 一括交付金の期限を迎える2020年度以降、那覇港物流機能等強化事業をどのように考えているのか伺う。 8 中学校の給食の量について (1) 一部の学校や生徒から、給食の量が少ないとの声を聞いた。このような現場の生の声を、市はどのように考えるのか伺う。 9 市役所総合窓口の対応のさらなる充実について (1) 総合窓口の対応が充実している自治体である青森県弘前市に総務委員会で行政視察に行ってきた。そこでは、銀行窓口の案内係のような対応をする、窓口コンシェルジュが配置され利用者

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
	満足度が高かった。浦添市では、市役所に訪れる方がどこに行けばいいのか分からない様子で困っている方をよく見かける。浦添市でも総合窓口や案内などの対応をもっと充実させる必要があるのではないか伺う。
19 當 間 左知子	1 保育行政についてお伺いします。 (1) 子ども子育て会議（浦添市子ども・子育て支援協議会）の開催状況について ①新制度になってからの開催日数及び内容について ②確保方策の見直しについて (2) 小規模保育事業と連携施設について (3) 認定こども園について ①公私連携型認定こども園、公立認定こども園、私立認定こども園について (4) 平成30年度待機児童数について (5) 平成30年6月1日受け入れ可能児童数及び7月1日受け入れ可能児童数について (6) 保育士不足による定員割れについて ①保育士確保策について (7) 認可保育所主食費補助金について (8) 企業主導型保育所について ①設置数と定員について
20 上江洲 徹也	1 浦添市産業振興ビジョンについて (1) 商業振興について (2) 浦添市中小企業・小規模企業振興基本条例との関連について (3) 浦添市観光振興計画との関連について 2 浦添市観光振興計画、平成30年度の取り組みについて 3 てだこウォークの平成30年度の取り組みについて 4 神森中学線の事故防止の取り組みについて 5 一般介護予防事業の取り組みについて 6 燃えないゴミ分別内容の市民告知について 7 N E T119の取り組みについて 8 モノレール周辺開発、西海岸開発での民間活力導入の取り組みについて
21 古波蔵 保 尚	1 市長の政治姿勢について (1) キッズファーストについて伺う。 (2) 県民投票について伺う。

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	(3) 管理職の人事について伺う。 (4) 県知事選挙の対応について伺う。 (5) 自己決定権についての見解を伺う。 (6) 公約を破り退職金を受け取る考えですか。 (7) 地元企業優先発注について伺う。 2 西海岸開発について (1) 浦添市西海岸開発&軍港移設フォーラムについて伺う。 (2) 西海岸開発の進捗状況を伺う。 3 教育・福祉行政について (1) 放課後等児童デイサービスの現状と課題を伺う。 (2) 教育長の資質について伺う。 (3) 小中学校陸上競技大会について伺う。 (4) 市民体育館の建てかえについて伺う。 (5) 県外から転入の保育士支度金・家賃補助等について伺う。 4 琉球コラソンの支援策について伺う。 5 てだこまつりについて
22 真栄城 玄 誠	1 公共施設内にある樹木の剪定等について (1) 内間の大アカギの剪定について (2) 内間児童センター内にあるデイゴの木の剪定について (3) 内間の中の橋近くにあるポケットパーク内の枯れ木撤去について 2 住宅宿泊事業法について 3 「深夜の子連れ飲食の制限」に関する条例化について 4 牧港補給地区の返還計画について 5 乳幼児健診について
23 下 地 恵 典	1 西海岸開発について (1) 第二ステージの進捗状況について (2) 軍港移設に係る再編交付金について (3) 第一ステージにおける商業施設の進捗状況について 2 公立幼稚園施設等の非常用通報装置の設置について 3 認定こども園施設の非常用通報装置の設置について
24 護得久 朝 文	1 市長の政治姿勢について 2 道路行政について (1) 神森線の安全対策 (2) 大平3丁目4-24と大平3丁目5-2にかかる3差路の安全対策 (3) 大平から沢峠小へ上る一方通行の道路の環境整備

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	3 神森小学校のプール改築について 4 勢理客3丁目の土砂災害対策について 5 交通空白地域への新たな公共交通の導入について (1) コミュニティバスについて (2) デマンドタクシーについて 6 学童保育の支援について 7 市民体育施設について (1) 体育館の建てかえについて (2) 野球場のナイター及びドームについて (3) テニスコートの建設について (4) パークゴルフ場の建設について 8 西海岸開発について
25 又 吉 謙 一	1 西部開発のビジョンについてお聞きします。 2 南第一地区、第二地区土地区画整理事業の財源状況について (1) 保留地処分金の見通しについて (2) 国庫補助金の状況について (3) 区画整理事業の将来の見通しについて 3 教職員の働き方改革について 4 神森小学校のプールの改築について
	以 上